

2019年度 春休み タイ・孤児スクールボランティアプログラム グループプログラム

現地受入可能日： 毎週火曜日現地到着（現地出発は月曜日）

2月5日、12日、19日、26日、3月5日、12日、19日、26日

1週間（6泊7日） 67,000円 2週間（13泊14日） 86,000円

受入可能日にあわせてご出発ください。詳しくはお問い合わせください。

注意：3月半ばから3月末までは試験期間で授業形態が通常と異なります。その後、5月半ばまでは、学校の夏休み期間となり、授業はありません。3月中旬からご参加予定の方はご注意ください。生徒寮に残っている子供たちと日々交流して頂くことはできます。



子供たちとの挨拶もこれで大丈夫！

人々が胸の前で手を合わせてにっこり微笑んでくれる。タイではよくそういう情景に遭遇しますが、このジェスチャーは「ワイ」と呼ばれる挨拶です。手を合わせる位置によって目上の人や国王や僧侶に対するワイと、さまざまですのでタイの人々がお互いにワイを交わす様子を見てちょっと学んでみましょう。これがあれば言葉がわからなくても気持ちが伝わるのでぜひ覚えておきたいですね。

● タイはどんなところ？

その昔「シャムの国」と呼ばれ、13世紀中ごろに君主国として独立してから今にいたるまでの約800年というもの、東南アジアにおいては珍しく他国から支配されることがなく、華麗な独自文化が連綿と息づいてきた歴史ある王国、タイ。荘厳な寺院に優雅な古典舞踏、美しく繊細な工芸品などに垣間見える伝統の数々は、見る人をひきつけて離しません。



アユタヤの遺跡

滞在先の学校からはバスでおおよそ30分程度。バンコク市内からおおよそ専用車で1時間30分のところにあるのがアユタヤの町、ここに世界遺産があります。1350年から417年間、5つの王朝、35人の王が王国を築いた場所。度重なるビルマ軍との戦いにより1767年に陥落し、歴史が止まったままの現在の姿……。顔のない仏像や、顔だけ切り落とされた仏像、土台だけ残された寺院など破壊された姿からでも、アユタヤ王国がどれだけ偉大だったか肌で感じます。

● グループで活動するメリット

参加費用が、個人プログラムよりも安くなります。タイの場合は往復の交通費でしょう。タクシーで空港から派遣先の学校までおおよそ2時間の距離、個人参加だと、どうしても割高になります。また、参加者同士の横のつながりができ、より活動的に、楽しく滞在することができるのがメリットでしょう。

● ボランティア活動

ワットサケオスクール（孤児の学校）での活動内容はスタッフから指示を受けるものではありません。参加者自らどんど

ん活動を求めていく姿勢が必要です。基本は子供たちと楽しく遊ぶということです。

● 滞在は学校に併設されたボランティアのための専用宿舎です。

このプログラムに参加する方々は学校の寮に滞ります。費用には宿泊数の食事も含まれています。一部屋を2名または3名でシェアします。同じ宿舎にお世話をしてくれる学校の先生も滞ります。

● タイ孤児スクール・グループプログラム・スケジュール

DATE	午前	午後・夕刻
1	関西空港、成田空港等から弊社指定の便で出発。タイ国際空港到着後、コーディネーターが空港でお出迎えし一路ワットサケオへ	
2	孤児スクール「ワットサケオ」での活動の内容は完全に参加者自身にお任せしています。したがって、サンプルとなるようなものは載せることができません。参加者皆さん同士で、相談してもよいし、自分自身の特技などを利用して活動されてもよいです。担当の先生がいますので、「こんなことをしたい」と相談してください。早く了解してくれるでしょう。	
5 (12)	いままで参加された方々は日本語、英語、スポーツ、遊び、アート、クラフト、コマ、あやとり、フリスビーなどいろいろなことをされました。	
6 (13)		深夜便で帰途へ
7 (14)	帰国	

<プログラムに参加する際の留意事項>

現地語は大事です。でも、タイ語を日本で勉強するのは時間とお金もかかります。だから、「旅の指差し会話帳・情報センター出版局」を事前にお渡ししますので、現地で子供たちにおそわりましょう。これが子供たちとコミュニケーションをとる最初の第一歩になるでしょう。大事な文章は1週間もあればある程度マスターできます！

お金は余裕を持って行ってください。現地で一緒になった人たちと遊びにいたり、先生の提案で旅行したりすることがあります。

事前にホームステイして、タイの文化と言葉を学んでから孤児スクールに行くこともできます。この場合にはグループプログラムにはなりません、より深くタイの文化を知ることができます。WEBのページを御覧ください。



活動するときには名札を用意しよう

以前参加されたかたからのアドバイス。タイ語での自分の名前を先生に聞いて、名札にしておきましょう。子供たちがそれを見て、すぐに名前を覚えてくれますよ。

あと、タイの子供達の英語能力はそれほど高くはありません。先生の方々も英語をえる人は少ないので「タイ語で頑張ろう」という気持ちが必要です。



宿舎はいたってシンプルです（参加者からのアドバイス）

*現在は、洋式トイレがあります。

トイレはティッシュが使いませんでした。水を流す時は、横に溜めてある水を使い流します。詰まらない様子を気にしていましたが、結局詰まり、最後の2週間はトイレを使う際は、わざわざ他の部屋まで行き使っていました。

お腹を壊している時は大変でした。シャワーは水しか出ませんが、冷たさはすぐに慣れます。シャワーから出る水の量は凄く少ないし、あちらこちらに飛び散り、洗うのにも時間がかかるので、翌日からは溜めてある水を使うようにしました。

参加者感想文は次の URL でご紹介しておりますのでご覧ください。

⇒<http://www.cecj.net/blog/report?country=thai>

募集要項

現地受入可能日： 毎週火曜日現地到着（現地出発 月曜日）
2019年2月5日、12日、19日、26日、3月5日、12日、19日、26日
1週間(6泊7日) または、2週間(13泊14日)

プログラム参加費用	催行最少人数： 2人（定員8名様） 募集人数に達した時点で募集を打ち切ります。
1週間 67,000円	
2週間 86,000円	

<プログラム費用に含まれるもの>

現地到着時の、タイ国際空港から学校までの送迎また、帰国時の学校から空港までの送迎（現地フライト発着時間は、複数送迎のため、合わせていただきます。

学校寮滞在費用（3食付）

滞在期間中の現地でのサポートに関して

現地の学校の先生が宿舎に泊まりこみでお世話をしてくれます。基本、英語またはタイ語での会話となります。

<プログラム費用に含まれないもの>

タイ・バンコク空港までの往復航空券（CECが提携する旅行社をご紹介する事も可能です）

海外旅行傷害保険加入費用

観光地費用などの個人的費用

<お申込方法>

参加申込フォーム（[CECのWEBを参照ください](#)）から必要事項を入力いただき送信ください。申込金の20,000円はフォームの送信後3日以内にCECの口座までお振り込みください。申し込みフォームと申込金の到着を以って成立とさせていただきます。

申込の際の留意事項

- パスポートの残存期間が6ヶ月+滞在期間以上あることをお確かめ下さい。ない場合は更新ください。
- 未成年者の方は、保護者からの同意書が必要です。お申し込み後、同意書フォームをお送りします。
- WEB上でプログラム参加条件をお確かめいただき、お申込みください。

お問合せは下記までお気軽にご連絡ください。
CEC ジャパンネットワーク



CEC Japan Network

532-03 大阪市淀川区宮原 1-16-2-604

Tel 06-6397-7030 e-mail info@cecj.net

<http://www.cecj.net>